

2026年度4月入学(Ⅱ期)

東北大学大学院経済学研究科博士課程前期2年の課程

筆答試験問題

経済経営科目 「日本経済史」 (日本語で解答すること)

以下の各問すべてに答えなさい。

問1 第一次世界大戦を契機とした経常収支の黒字に対して、日本政府が行った正貨の不貲化政策について、以下のすべてに答えなさい。

- 1 日本政府が上記の政策を実施した目的および背景、政策の具体的な実施方法を説明しなさい。
- 2 上記の政策が1920年代の日本経済に与えた影響を説明しなさい。

問2 第二次世界大戦以前の日本において「財閥」と呼ばれた企業集団について、以下のすべてに答えなさい。

- 1 「財閥」が経営体としてどのように特徴づけられるのか説明しなさい。
- 2 後発国である日本の工業化において「財閥」がどのような役割を果たしたか論じなさい。
- 3 太平洋戦争後、GHQが「財閥解体」を進めたのはなぜか、昭和戦前期における「財閥」の具体的な活動に触れながら論じなさい。

以上